

授業開始ガイドライン

目次

I. 授業開始にあたって	2
II. 授業方法	
1. 登校方法	2
2. 期間・登校日	2
3. 時程	3
4. 出欠	3
5. 新型コロナウイルス感染症対応フローチャート	4
III 本校における感染予防対策	
1. 感染症予防のポイント	5
2. 感染予防対策	5-9
3. 授業実施上の注意	9-10
IV 保健室における対応	
1. 保健室の整備	10
V その他	11

I. 授業開始にあたって

長期にわたる臨時休校の期間、保護者の皆様には本校のご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございました。授業を開始するにあたって、生徒の感染リスクを懸念される保護者・生徒の方もいらっしゃると思いますが、注意をしていただきたい点と本校の対応を、お知らせさせていただきます。これらの注意を守ったうえで、本来の教育活動へ近づけていきたいと考えております。ご理解とご協力をお願いいたします。

II. 授業方法

1. 登校方法

- ・全学年クラス A, B の 2 班に分けた分散登校
(2 週間をかけて 1 週間分の授業を行います)

2. 期間・登校日

- ・期間
6/8 (月) ~6/19 (金)

※ 情勢により延長の可能性もあります。

- ・登校日

	1 週目 (6/8~6/12)					2 週目 (6/15~6/19)				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
A 班	登校	自宅 学習	登校	自宅 学習	登校	自宅 学習	登校	自宅 学習	登校	自宅 学習
B 班	自宅 学習	登校	自宅 学習	登校	自宅 学習	登校	自宅 学習	登校	自宅 学習	登校

3. 時程

S H R 9 : 20 (5 分間「かしみるメソッド」学習を実施)

1 限 9 : 40 ~ 10 : 20

2 限 10 : 30 ~ 11 : 10

3 限 11 : 20 ~ 12 : 00

4 限 12 : 10 ~ 12 : 50

昼食 12 : 50 ~ 13 : 25

5 限 13 : 30 ~ 14 : 10

6 限 14 : 20 ~ 15 : 00

7 限 15 : 20 ~ 16 : 00

S H R 15 : 00 ~ (7 限の授業があるクラスは 16 : 00 ~、3 年生は 12 : 50 ~)

※ 自宅学習日の対象生徒は、朝、帰りの S H R を Zoom で参加してもらいます。

4. 出欠

【登校の対象生徒】

- ・通常通りの出欠をとります。
- ・ご家庭で「新型コロナウイルス感染防止の観点から、登校を控えたい」場合は、事前に保護者から学校へ連絡をしてください。所定の用紙（無い場合は担任へ連絡ください）の「新型コロナウイルス感染症による出席停止措置願い」を提出していただき、この期間を出席停止扱い（欠席ではありません）にさせていただきます。

※ 提出方法は、保護者が記入したものを写真で撮り、Gmail に添付して担任に送信してください。

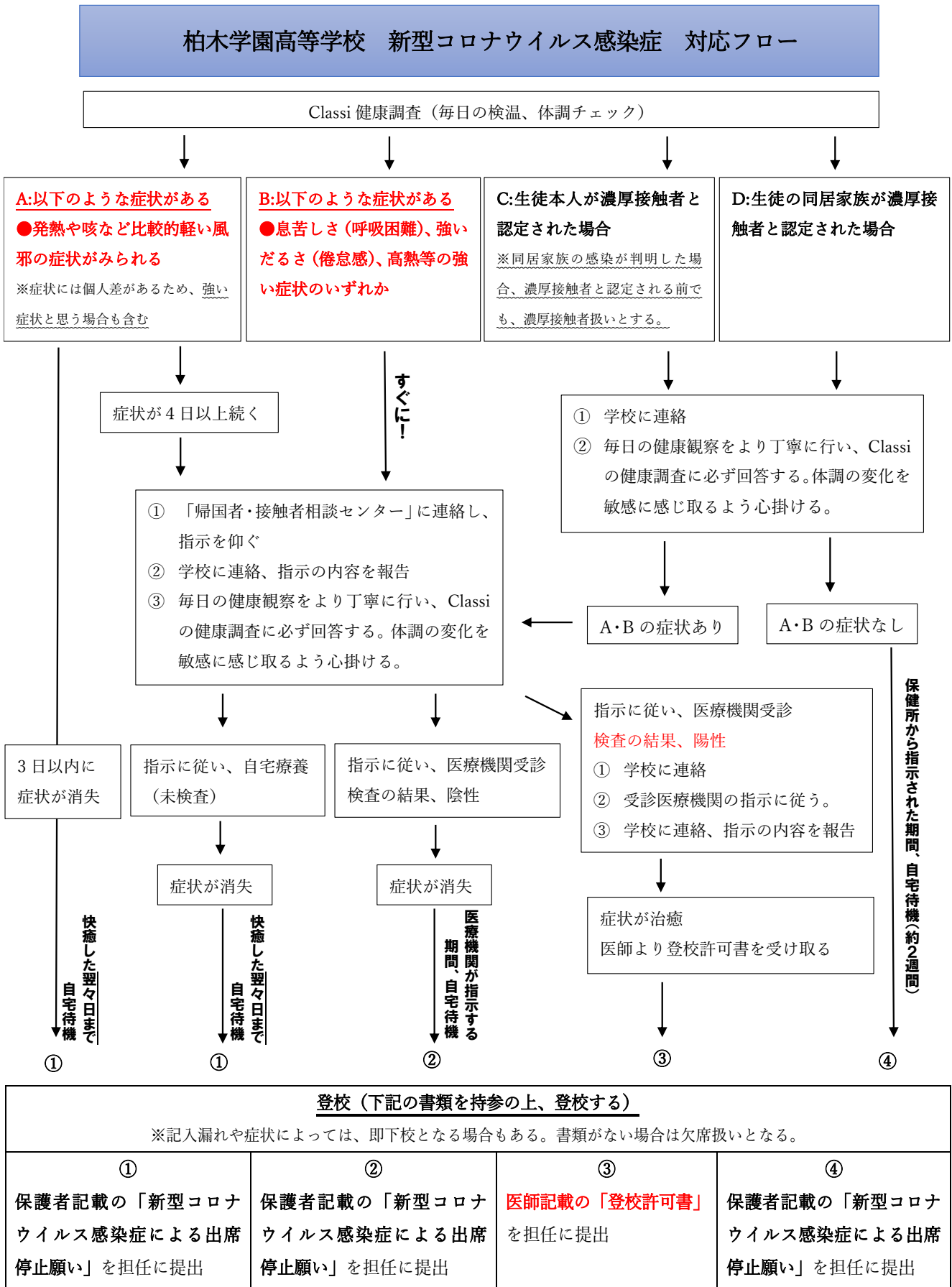
※ 送信していただいた書類の原簿は、登校可能となったときに提出をしていただきます。

【自宅学習の対象生徒】

- ・朝、帰りの S H R は、学校の生活習慣を少しでも維持していただくために、Zoom で参加してください。
- ・時間割に則して自宅学習用の課題を行い、Classroom で提出してください。

※ 提出方法は 6/2(火)に、各クラスで説明をしました。不明な方は各クラス担任に問い合わせください。

5. 新型コロナウイルス感染症対応フローチャート



Ⅲ. 本校における感染予防対策

1. 感染症予防のポイント

(1) 「感染源を絶つこと」「感染経路を絶つこと」「抵抗力を高めること」

石けんでの手洗いの徹底、咳エチケットなどの基本的な感染症対策のご協力をお願いします。

また、十分な睡眠時間の確保、バランスのとれた食事、適度な運動等、抵抗力を高めるための規則正しい生活を送ってください。

(2) 「3密」= 3つの密 を避けること

学校生活の中で3密を避ける

「①換気の悪い密閉空間 ②人が密集している ③近距離での会話や発声が行われる密接状態」という3つの条件が重なることを避けてください。3つの条件がそろうことに限らず、1つ1つの条件も可能な限り避けてください。

※ 3密の回避は「クラスター発生」を防ぐためであり、3密を回避したとしてもヒト-ヒト感染を完全に予防できるわけではないので注意をしてください。

2. 感染予防対策

- (1) 家庭における健康調査
- (2) 登校時の健康観察
- (3) マスクの着用
- (4) 安全な環境づくり

(1) 家庭における健康調査

登校前

◆健康調査の徹底

- ・必ず毎朝8:30までにClassi上で配信される「健康調査アンケートの回答」をお願いします。
- 養護教諭が9:00までに集計し、担任と共有いたします。

以下の3点に該当する場合は学校へ連絡をし、自宅で療養をしてください。

- ①検温の結果、37.0度以上の発熱（平熱により個別対応）がある場合。
- ②風邪症状がある場合。
- ③健康状態に関して登校するか迷った場合。

※ 土日の間に①②に該当する症状が出た場合は、月曜日の登校は控え、学校に連絡をし、自宅で療養をしてください。

(2) 登校時の健康観察

校門

- ・登校してきたすべての生徒に対し、校門にて非接触型体温計を用いて検温をします。
- ※ 37.0℃以上の発熱が見られる場合は、養護教諭が腋窩体温計を用いて、再度検温を実施します。
それでも、体温が37.0℃以上の場合は、自宅で療養をしていただきます。

<自宅待機を依頼する例>

- ①37.0℃以上の発熱。
 - ②原因不明の呼吸器症状が持続している。
 - ③風邪症状がある。
 - ④体調に不安を訴える。
 - ⑤身近に感染者や濃厚接触者がいる。
- ※ 発熱については、平熱等の個別性を考慮し判断します。

<自宅待機を依頼する場合>

- ・生徒の健康状態を記録し、保護者へ連絡を入れます。
- ※ 連絡が取れなくても、状況によって帰宅の判断をさせていただく場合がありますので、ご了承ください。
- ・帰宅後、安否確認のため学校へ連絡を入れてください。

(3) マスクの着用

- ・飛沫感染防止のため、登校時・校舎内でマスクを必ず着用してください。

※ マスクがない場合は手作りマスクを作成して着用してください。作成方法は学校HPに掲載しています。

- ・正しい着用方法、処分する際の注意点を注意してください。

※ 国から支給される布マスクは、各クラスで配付しました。

- ・ひもが切れてしまう場合がありますので、必ず予備を準備しておいてください。

(4) 安全な環境づくり

環境整備

手洗い・消毒についてのお願い

- ・昇降口、全教室、トイレの前に消毒液を設置しております。出入りの際は必ず消毒をしてください。
- ・食事前は必ず手洗いをお願いします。その際に密集を避けるために、各クラスでの手洗い場を決めていますので、ご協力をお願いします。



せっけん・手指消毒液の設置

- ・せっけん：手洗い場すべてに設置しています。
- ・手指消毒液：昇降口（2個）、生徒ホール前（2個）、体育館（3個）、職員室（7個）、保健室（2個）、選択・教科教室（17個）、メモリアルホール（1個）各教室（35個）、各トイレ前（14個）

感染リスクの高い行動を避ける

登下校

○公共交通機関を利用する 《飛沫感染・接触感染のリスク》

できるかぎり人混みや混雑する場所を避けるようにしてください。

○複数の生徒が近距離で会話をする 《飛沫感染のリスク》

身体が触れあわないよう距離を保ち、大声での会話を避けてください。

特に、公共交通機関では一般の方に配慮し、必要最低限の会話にとどめてください。

○不特定多数の人が触れるモノ（つり革や手すり、改札口）に触れる 《接触感染のリスク》

ウイルスが付着している可能性があるため、手で目・鼻・口等を触らないよう注意をしてください。

休み時間

○生徒が集まって過ごす 《飛沫・接触感染のリスク》

手を伸ばすことができる距離を保つようにしてください。

- ・教室 : マスクを着用してください。
 - ・マスクを外して飲食をする際には、周囲の人に飛沫が飛ばないように十分に距離を取ってください。
 - ・マスクを外したまま大きな声での発声、会話はしないでください。
- ・生徒ホール : 利用制限しています。
 - ・自動販売機の利用のみ可能。
 - ※ 生徒ホール内の机・椅子を端に寄せ、生徒同士が距離を保つことができるよう、床に等間隔の線を引いています（養生テープ）。
 - ・自動販売機を利用した場合、教室に戻る前に、手洗いをしてください。

○共有スペースで隣同士/向かい合わせで食事をとる 《飛沫感染のリスク》

各教室で静かに食事をとってください。

※ 教室以外での食事は禁止させていただきます。

○教室内で手の届く距離で昼食をとる 《飛沫感染のリスク》

ソーシャルディスタンスを保ち、よそ見をせずに自分の席で静かに食事をしてください。

窓やドアは開放（換気のため）したままにしてください。

○放課後、教室や共有スペースに集まる 《飛沫感染のリスク》

昇降口での密集を軽減させるために、クラスで下校をずらしています。必要な用事がない生徒は速やかに下校してください。

※ 寄り道等をしないでください。

3. 授業実施上の注意

(1) 全般的な注意

- ・教室の窓・扉は開けたまま行います。
- ・座席は、距離を十分確保した距離で配置しています。
- ・グループワークを実施する場合は、距離を十分確保した状態で行います。
- ・極力授業プリントの使用を控えます。使用する際は、教員が手指消毒をし、1人1人に配付します。

※ 1, 2年生はタブレットを使用しますので、充電を忘れずに毎日持参してください。

(2) 実験

- ・少人数の選択授業のみ実験を行い、極力生徒は1人につき1卓とし、実験器具は共有しません。
- ・少人数ではないクラスについては、演示実験を行います。その場合、生徒を教卓に呼ぶことはせず、すべての操作を教員が行って見せます。

(3) 体育

- ・運動時に酸素不足による窒息や熱中症を防止する観点から、生徒同士の距離を十分確保し、マスクを外して指導します。(強制ではありません)
- ・大声での応援、ハイタッチ、握手、補助等の身体的接触は避けてください。
- ・低リスク種目を実施します。
- ・武道では、剣道具の装着はせず、木刀による剣道基本技稽古法による授業展開をします。
- ・対面での実技指導は行わず、一方向での展開及び十分な間隔をとって実施します。

※ 冷水機の使用を禁止していますので、各自で飲み物の準備をお願いします。

(4) 芸術

- ・音楽の授業では、タブレットを使用した鑑賞授業の時間を増やしますので、イヤホンを持参してください。
- ・道具の共有は原則いたしません。使用をする際は、十分手指消毒をしてから使用していただきます。

(5) 家庭

- ・調理実習は情勢が落ち着くまで実施いたしません。

(6) 情報

・ P C教室を利用する際は、必ず手指消毒をしてください。

※ 気になる方は、手袋を持参してください。

・ P C機器は1席開けて使用してもらいます。

・ 授業終了後、キーボードの消毒をします。

IV. 保健室における対応

1. 保健室の整備

(1) 保健室を2か所に分けます。

体調不良を訴える生徒とその他の生徒が密に接触することを避けることを目的としています。

○内科的主訴：生徒指導室前廊下

・ 椅子を3つ程度置き、検温・問診を行います。

・ パーテーション（保健室所有の2台）を設置し、周囲から見えないようにしています。

・ 湯ペット、ひざ掛け等の共有物の貸し出しは致しません。

※ 原則、ベッドで休養が必要となる健康状態の生徒は、早退してもらいます。

(2) 早退の目安

○37.0℃以上の発熱（平熱等の個別性も考慮し、判断する）

○原因不明の呼吸器症状があり、朝の状態と比較して悪化している

○体調に不安がある

○身近に感染者・濃厚接触者がいることが明らかになった場合

2. 救急体制の整備

新型コロナウイルス感染症は、呼吸状態が急激に悪化し、人工呼吸器が必要になる事例が多く報告されているため、呼吸器症状の変動を注意深く観察し判断します。

(1) 救急搬送の目安

・ 容体の急変（意識レベルの低下）

・ 明らかな呼吸状態の悪化

（胸を押さえる、会話の困難感、20分以上続く日常生活動作に支障をきたす程度の息苦しさ）

V. その他

(出停・忌引き)

- ・新型コロナウイルスの感染、濃厚接触者扱いは、すべて出席停止扱いとします。

※ 詳細については、P.4 のフローチャート参照。

(食事について)

- ・生徒は全員HR教室で食事をしてもらいます。
- ・昼食は各自持参してください。

※ お弁当・パンの販売はありません。

自動販売機のみ購入可。(並ぶ際はソーシャルディスタンスラインあり)

(休み時間について)

- ・不要不急の教室移動を控え、会話する際は大きな声を出さず、十分な距離を保って会話をしてください。

(部活動について)

- ・全員が揃って通常の授業を行える状態になるまでは禁止とする。

(生徒指導について)

- ・感染リスクの予防のため、この期間は携帯電話の預かり指導は致しませんが、再三の注意指導を行っても改善が見られない場合は、お手数ですが保護者の方にご来校していただく場合があります。
- ・マスクを着用せずに登校した場合は、通学中に感染する可能性を考え、下校指導をいたします。

※ 下校の際は、マスクを渡します。周りへの感染リスクを抑えるための措置ですので、ご理解とご協力をお願いします。また、本人の感染リスクも考え、3日程度自宅で健康調査を行い、新型コロナウイルスの感染症状が見られない場合は登校を再開していただきます。この期間は「出席停止扱い」とさせていただきます。